

『思い出の本』

音楽科 中井 健晴

今回、この図書館通信「みなみ」の原稿締め切りが近づくとつれ、「さてどうしよう、困ったな。」という気持ちが日に日に高まっていました。というのも、恥ずかしながらここ数年間、とても「読書」と言えるようなレベルで本を読んでいなかったのも、こんな状況で原稿を書いてよいのだろうかと考えていたからです。もちろん、まったく本を読んでいなかったわけではないのですが、このコロナ禍でできたゆとりの時間は、読書よりもドラマや映画を見ることのほうが多い状況になっていました。ただ、弁解するようですが、昔からこうだったわけではなく、かつてはよく本を読んでいたし、どちらかと言えば読書は好きなほうであったと思います。

丁度この夏、家の清掃や片付けに没頭していたこともあり、本棚や押し入れにしまっていた本を整理する機会がありました。これまで読んできた本の中で、特に思い出のあるものは今でも残しているのですが、その中に繰り返し読んできたため表紙がボロボロになった、吉川英治著の「宮本武蔵」を発見しました。宮本武蔵といえば、佐々木小次郎との「巖流島での決闘」や「五輪書」等々有名で江戸時代の剣術家であり、多くの作家によって小説や漫画の主人公として取り上げられ、映像化された作品も多数あるようです。私が高校1年生の時に、吉川英治原作のドラマがNHKで放送されていて、楽しみに見ていた記憶があるのですが、実際にこの小説を読んだのは大学生になってからでした。当時、大河ドラマが好きで、その原作となる本をよく読んでいたのですが、書店の歴史・時代小説コーナーで本を探していたときに、この小説を見つけ読み始めました。高校生の時に見ていたドラマにも感動したのですが、小説の世界での宮本武蔵の苦悩や、修行を通して人間として成長していく姿に大変感銘を受け、夢中になって読み進めたことを覚えています。そして、その後も自分自身がつらく苦しいときに、この本を読み返すことで苦難を乗り越える宮本武蔵の姿を想像し、頑張る励みにもなっていました。

このようなことを思い出しながら、今あらためて読書の大切さについて考えています。国語力の向上はもちろんですが、よく言われるように想像力を身に付け、高められることが何より素晴らしいと思います。今回本の整理をした際に、興味があつて買ってはみたものの、読まずに置いてある本がたくさん出てきました。また落ち着いて読書をする時間を作り、そのような本から読んでいきたいと思っています。

(※ 『宮本武蔵』の本(吉川英治 著)は本校にもあります。ぜひ読んでみてください。)

☆一人6冊以上、本を借りましょう☆

7月の図書館通信でお知らせしたとおり、皆さんが1学期に借りた本の冊数をそれぞれのカードの右の欄に記入しました。そして、8月までに、すでに本校の目標である『6冊』を達成した人のカードには、シールをつけています。ちなみに、シールのついた人は、下記の表のとおりで、全校で136名、全体の17.8%です。

	1組	2組	3組	4組	合計
1年	15人	15人	12人	6人	48人
2年	4人	4人	2人	1人	11人
3年	6人	4人	1人	3人	14人
4年	6人	7人	3人	2人	18人
5年	4人	30人		2人	36人
6年	3人	0人	3人	3人	9人

まもなく、今年度第1回目の読書冊数調査を行います。今年もまた、少し様式を変え、図書館で借りた本の冊数や調査対象期間が、よく分かるようになっていきます。2学期は、体育祭、文化祭といろいろな行事があり、忙しいとは思いますが、10月の終わりから読書週間も始まります。ぜひ、本に親しんでください。

～新刊紹介～(全冊、既に入荷しています。)

- 『わたしの幸せな結婚 6』 顎木あくみ【著】
 - 『最後の晩ごはん 18 ゲン担ぎと鯛そうめん』 榎野道流【著】
 - 『にゃんこ四字熟語辞典』 西川清史【著】
 - 『勉強が面白くなる瞬間』 パク・ソンヒョク【著】
 - 『掬えば手には』 瀬尾まいこ【著】
 - 『スマホになじんでおりません』 群ようこ【著】
 - 『基礎からわかる論文の書き方』 小熊英二【著】
 - 『ほどなく、お別れです』 長月天音【著】
 - 『地球の歩き方 ジョジョの奇妙な冒険』 地球の歩き方編集部【編】
 - 『こうやって考える』 外山滋比呂【著】
 - 『タイムトラベル世界あちこち旅日記』 益田ミリ【著】
 - 『念ずれば花ひらく』『生きていく力がなくなるとき』 坂村真民【著】
 - 『愛の道しるべ』『詩集 念ずれば花ひらく』『詩集二度とない人生だから』 坂村真民【著】
 - 『詩集 宇宙のまなざし』『坂村真民箴言詩集』 坂村真民【著】
 - 『人の心に光を灯す坂村真民一日一詩366』 坂村真民【著】 西澤幸一【編】
 - 『かなしみをあたためあつて歩いて行こう』 西澤幸一【著】
- (●は、1学期末にも紹介した『坂村真民さん』関係の図書です。)

1学期や夏休み中に借りている本は、至急返却してください。